

# JFM だより

地方の、地方による、地方のための

 地方公共団体金融機構  
Japan Finance Organization for Municipalities

Vol.03  
Summer 2012



JFMトピックス	1
自治体ファイナンスよもやま話	3
地方支援ダイアリー	5
基金運用ひとくちメモ	7
がんばる公営競技	8
人事交流日記	9
JFMって何?	10
私たちもJFM買ってます	11
JFMからのお知らせ	11

写真：千葉市動物公園

立ち上がるレッサーパンダ「風太くん」が有名ですが、今、招き猫のように福を呼ぶ「メイメイちゃん」も人気を集めています。園内の手すりやスロープ等バリアフリー施設の整備にJFM資金が使われています。

 JFM

JFMとは Japan Finance Organization for Municipalities の略称です。

# JFMの準備金3,500億円が 地方の財源（地方交付税）として活用されます

7月24日、平成24年度の各地方公共団体に対して交付される  
普通交付税の額が決定されました。

厳しい財政状況の中、今年度の地方交付税総額（17兆4,545億円）は、  
前年度より811億円増となりましたが

これには、JFMが国に納付した資金3,500億円が貢献していることをご存知でしたか？

## なぜ国に納付することになったの？



地方の皆様のお役に  
立てて何よりです！

今年度の地方財政計画の策定に当たっては、  
地方からの強い要請もあり、地方交付税を昨年度  
より増額とすることが最重要課題とされていました。

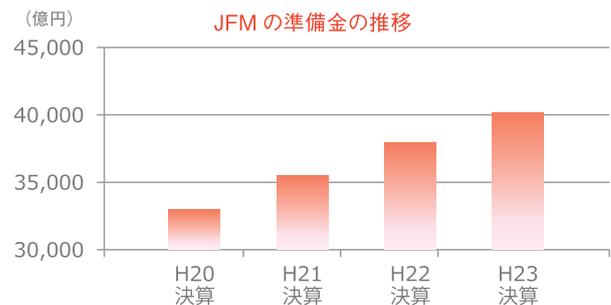
そういった状況の中、昨年12月に、総務大臣と  
財務大臣が、24年度の地方財政全般について  
協議する中で、JFMや地方団体の意見を踏まえ、経  
営が安定的に推移しているJFMの金利変動準備  
金を活用することが決  
まりました。

国庫納付した準備  
金が地方の財源不足  
の補填に活用され、地  
方財政に貢献できる  
内容であり、JFMとし  
ては、地方共同法人に  
ふさわしい貢献がで  
きたものと考えています。

準備金については  
P10を見てね！



これまで金利水準が低位で推移してきたことにより、JFMの準備金は増加しており、今後、金利が上昇するリスクを踏まえても、将来にわたり、JFMの経営に支障が出ないと判断された範囲内での国庫納付額となっています。



## 法令の制定・改正が必要って聞いたけど…？

国庫に納付した3,500億円は国の会計を経由して、地方団体に交付税として届くことになっており、必要な法令の制定・改正が行われました。



## 来年度はどうなるの？

25年度及び26年度においては、残りの6,500億円を目途に納付を行うこととなっています。各年度における納付額等は、今後、改めて総務・財務両大臣が協議して定めることとなっていますが、その際、地方団体やJFMの意見も十分に聞くことになっています。

## いくら納付するの？それでも大丈夫なの？

24～26年度の3カ年度で総額1兆円を目途として国庫に納付することとされました。そのうち、24年度分の3,500億円については、本年4月に既に納付しました。

# 23年度 業務のご報告

## 23年度を振り返って



震災からの復旧復興



ヨーロッパ信用不安

東日本大震災の直後に幕を開けた平成23年度は、被災地の復旧・復興に向けた取り組みが徐々に進む一方、ヨーロッパの信用不安や円高に見舞われ、日本経済を取り巻く環境は厳しいものとなりました。

### 1 地方公共団体に対する融資を着実に実施

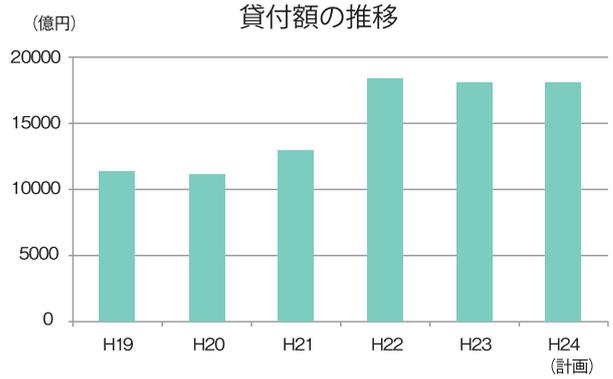
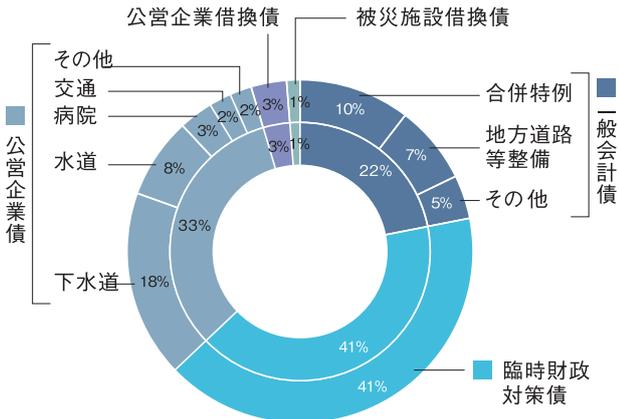
平成23年度は、昨年度に引き続き、約1兆8,000億円余の貸付けを実施いたしました。平成21年度からは一般会計債も貸付対象となったことから、近年は、臨時財政対策債をはじめ一般会計に対する貸付けの割合が増加しています。



(単位：億円)

貸付の概況	H23	H22	増減
貸付金	18,041	18,328	▲287
貸付回収金	16,485	16,312	173
貸付金残高	223,874	222,318	1,556

H23貸付金の内訳



### 2 東日本大震災の復旧・復興等を支援

「地方の、地方による、地方のための」機関として、経営の規律を確保しつつ、様々な対応を講じてきました。



元利償還金の払込期日の延長	震災の影響等により元利金の償還業務に支障を生じた団体について、払込期日を延長する措置を実施。
被災施設の繰上償還及び借換債	JFM資金の使用によって取得した施設が滅失し繰上償還を行う場合に、その財源に充てる借換債に対してJFM資金の貸付けを実施。
全国的な緊急防災・減災事業の推進	全国的に緊急に実施する必要性が高く、即効性のある防災、減災等のための事業に対してJFM資金を貸付け。

### 3 健全な財務基盤を維持 ~H23決算~

貸付平均利率が低下したこと等により、経常利益は前年度より若干減少しましたが、2,300億円を計上し、引き続き高い水準を維持しています。

(単位：億円)

損益の状況	H23決算	H22決算	増減
経常収益	5,118	5,399	▲281
経常費用	2,817	2,924	▲106
経常利益	2,300	2,475	▲175
当期純利益	216	160	55

JFMでは、法令の規定により、債券の借換えによって生じた収益は公庫債権金利変動準備金に積み立てることとされており、積み立て等を行った結果、当期純利益は216億円を計上しました。



毎年度財務諸表等を作成し、総務大臣・財務大臣に提出しています。

## 資金調達の 必須アイテムって？



自治体ファイナンス・アドバイザー

## 堀内 聡

こんにちは！自治体ファイナンスアドバイザーの堀内です。このコーナーでは、「資金調達において、ちょっとお役に立つ話」や、自治体の皆様の実際の取り組み事例などをご紹介します。

板前さんであれば「包丁とまな板」、大工さんであれば「のこぎりと金づち」のように、多くの仕事ではその仕事になくてはならない「7つ道具（7つもないかもしれませんが…）」があると思います。

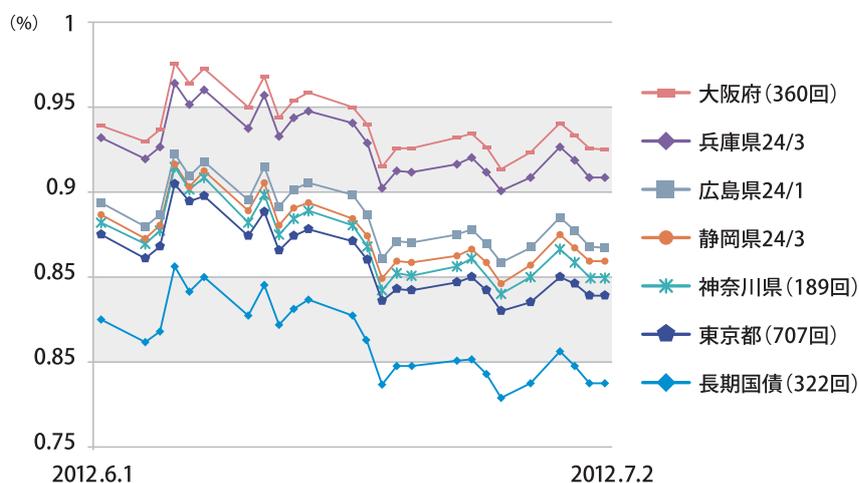
私たち自治体ファイナンス・アドバイザーの仕事にも、なくてはならない道具があります。それは「物差し」です。

今回は、私たちが借入条件や運用条件の分析を行うために用いる「物差し」と、それを用いた分析手法をご紹介します。

### I. 「物差し」としての国債金利（流通利回り）

資金を調達する際には、借入利率は低ければ低い方が望ましいですし、反対に資金を運用する際には、運用利率（利回り）は高ければ高い方が望ましいのは言うまでもありません。しかし、野菜や果物、家電製品などの他の商品と同じように、「お金」という商品についても、**お金を取引する市場（金融市場）における「お金を手に入れたい人（資金の借り手。資金を調達する側）」と「お金を売りたい人（資金の貸し手。資金を運用**

図表1 国債と公募地方債の流通利回り推移



\* (出典) 地方債協会ホームページ [http://www.chihousai.or.jp/11/pdf/03\\_07\\_01\\_02.pdf](http://www.chihousai.or.jp/11/pdf/03_07_01_02.pdf)

**する側）」の需要と供給のバランスの中で、お金の対価に該当する金利（利率や利回り）の水準が決まっています。**そして、金融市場における需要と供給のバランスは様々な要因により日々変化するため、お金の対価である金利の水準も日々変化しています。

「金融市場」と一口に言っても、金融機関同士が資金の貸し借りをを行う市場や、国や自治体、企業などが発行する債券が取引される債券市場など色々な種類があります。また、そこで取引される「お金」の借入期間（運用期間）も様々です。そして、それぞれの市場や取引される金融商品、お金の借入期間（運用期間）ごとに「対価」である金利（利率や利回り）の水準が決まっています。

その中で、**我が国の債券市場の中で取引される債券の中で最も大きな割合を占め、極めて信用力（約束した期日に、約束した金額だけ元金金の支払いを行う能力）が高い国が発行する債券である国債の流通利回りが、金融**

市場における「借入期間(運用期間)ごとのお金の対価」の物差しとして、代表的に用いられています。そして、金融市場における資金の貸し借りや、取引される金融商品の多くの利率や利回りが、借入期間や運用期間と同一の残存期間(償還期限までの期間)の国債の流通利回りを基に決められています。

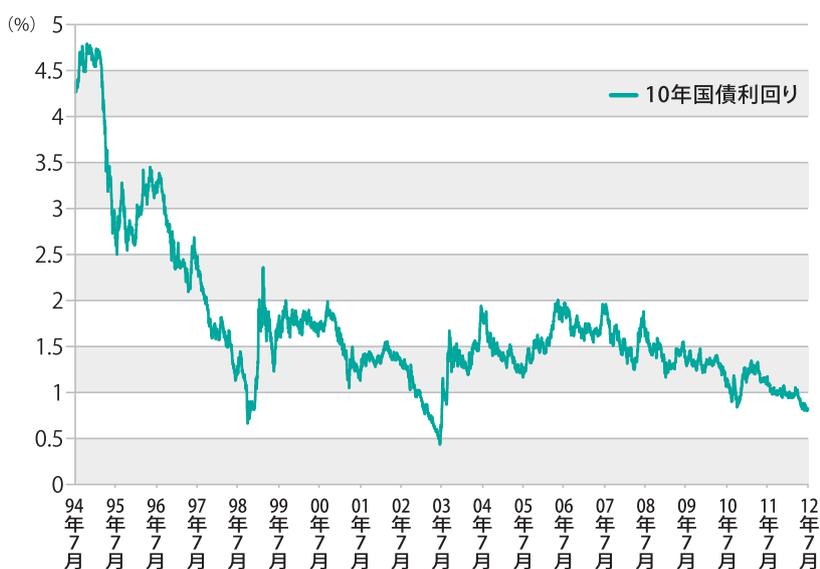
図表1は、ほぼ同一の残存期間の国債と公募地方債の流通利回りの推移を表したものです。それぞれの地方債の利回りが、国債の流通利回りの推移と連動して推移していることが読み取れます。

## Ⅱ.「スプレッド」に着目して金利を見てみよう!

I. でお話したとおり、金融市場における需要と供給のバランスは様々な要因により日々変化するため、国債の流通利回りをはじめとする金利の水準は日々変化しています。

図表2は、1994年7月から現在に至るまでの長期国債(借入期間が10年の国債)の流通利回りの推移を表したのですが、1994年には5%弱であったのに比べ、現在では1%を切る水準にまで大きく低下していることが読み取れます。

図表2 長期国債流通回りの推移



(出所) QUICKのデータを基に地方公共団体金融機構経営企画部地方支援課作成

そのため、借入時点が異なる

借入どうし、又は運用開始時点が異なる資金運用どうしを単純に利率や利回りの数字のみで比較することは、金融市場における金利の水準が日々異なるため、適切ではないと考えます。

私たち自治体ファイナンス・アドバイザーが、借入条件や資金運用の条件を分析するに当たっては、「借入利率が、その借入を行った時点の、借入期間(注1)と同じ残存期間の国債の流通利回りと比較していくら上乗せされているのか?」、又は「運用の利率(利回り)が、その運用を開始した時点の、運用期間と同じ残存期間の国債の流通利回りと比較していくら上乗せされているのか?」という「上乗せ幅(スプレッド)」に着目しています。

スプレッドに着目した分析では、金融市場における日々の金利の水準の変動の影響を除いた評価が可能となるため、借入時点が異なる借入どうし、運用開始時点が異なる資金運用どうしを同じ土俵で比較することができます。

このスプレッドに着目した借入条件の分析手法を、JFMのホームページに掲載している実務テキスト「実践金利計算～自分で金利計算ができるようになる～」

[http://www.jfm.go.jp/financing/pdf/support/H23/jinzai/110921\\_kinrikeisan.pdf#page=1](http://www.jfm.go.jp/financing/pdf/support/H23/jinzai/110921_kinrikeisan.pdf#page=1)に掲載しております(注2)。

また、ご依頼に応じて、皆様の自治体にお伺いする出前講座で、演習を交えたご説明も行っております。

是非、お気軽にお声掛けください。そして、一緒に「スプレッド」に着目して、金利を見てみましょう。

(注)

- ここで言う「借入期間」とは、満期一括償還や定時償還といった償還方法の違いを考慮した「平均償還年限」でとらえる必要があります。詳しくは、実務テキスト「実践 金利計算～自分で金利計算ができるようになる～」をご参照ください。
- 本実務テキストでは、「物差し」として、銀行が他の銀行から満期一括償還・固定金利方式でお金を借りる際の金利水準を表す「金利スワップレート」を用いていますが、国債の流通利回りにおいても、同様の手法を用います。ご不明な点などございましたら、是非地方支援課(電話03-3539-2676)までお気軽にお問い合わせください。

地方支援を利用してみよう！ vol.3



# 共催研修レポート

6月13～15日に全国市町村国際文化研修所（滋賀県）で行った「資金調達の基本～金利決定のメカニズムとその背景、交渉のポイント～」の様子を早速皆様にお届けします！

先進事例  
の紹介



- 先進的な取り組みを行っている自治体の事例を担当者から直接聞くことができます

山形県鶴岡市、岩手県北上市、山口県萩市の担当者から、民間等資金の起債など実際の取り組み事例について、生のお話をお聞かせいただきました。今後への貴重なヒントがたくさん！

- 自治体の借入について、金利はどのように決められるのか、金利に関する考え方を理論的に学びます



地方債の  
金利総論

金利計算  
演習



## 知識の習得

- 公表されている銀行間の資金貸借指標金利をもとにスプレッドを推計する手法について、ケーススタディを交えて実践します

- 資金調達を行う際、どのように交渉を進めるか、実際のやりとりを映像で見ながらポイントを掴みます



実践体験  
借入交渉

# 学び合いの場

- ☑ 横のつながりを作り、  
情報交換や学び合いの  
場を提供します

なかなか集うことのない全国の担当者同士で、活発な情報交換がなされました。先進事例をご紹介いただいた講師へ積極的な質問も！



講義終了後も  
自治体ファイナンス・  
アドバイザーへ  
各団体の抱える課題や  
質問など、ご相談いただく  
場面も多く見られました。



## 参加者の声



### ● 加古川市 財務調整課 村井さん

資金調達をする担当者としての基礎的な考えだけでなく、貸し手側から見た金利決定のメカニズムを知ることで、今後の資金調達に取り組みたいと思いました。また、ご一緒させていただいた他都市の受講生の方々から情報と良い刺激をいただきました。



### ● 福井県 財務企画課 大石さん

金利計算や貸し手側の事情等について、演習や事例紹介を通して苦なく理解することができました。早速、銀行等引受債の過去の借入条件について、推定スプレッドを算出するなど実情を把握して今後の借入交渉に活かします。



### ● 姫路市 下水道管理室 井上さん

地方債の金利計算や借入交渉等、とても実践的な演習が多かったので勉強になり、今後の業務に役立てたいです。また他市の事例紹介では資金調達についてとても参考になりました。

## ● 実務支援をご利用ください ●

金融実務に精通した自治体ファイナンス・アドバイザーが、団体からのご要望の応じて、個別の資金調達における課題や疑問の解決に向け、きめ細やかな助言などの支援を提供しています。

相談内容(例)・3セク債に係る資金調達(入札方式)実施に際してのアドバイス  
・住民参加型市場公募地方債発行に係るアドバイス  
・証券化等の新たな資金調達手法に係るアドバイス など

**団体側の経費負担はございません** ぜひお気軽にご連絡ください！

【お問い合わせ】 地方支援課 03-3539-2676

[chihoushienka@jfm.go.jp](mailto:chihoushienka@jfm.go.jp)

HP <http://www.jfm.go.jp/financing/plan.html>

**基金運用  
ひとくちメモ**  
— 第2回 —

**基金を構成する資金の性質を見極めよう!**

基金運用に当たっては、まず将来の基金残高の見通しを立てたうえで、資金の性質を把握し、性質に合わせた手法で運用することにより、運用効率の向上を図ることができます。

例えば、財政調整基金を例にしてみましょう。普段、どのような運用をしているでしょうか。下のグラフをご覧ください。

これは、一つのイメージ（他の基金との一体運用はなく、年に1回積立て又は取崩すという仮定）ですが、財政調整基金を取崩した実績や、これまでの事例等を踏まえ、手元に流動性のある形で確保しておきたい額を推計します。

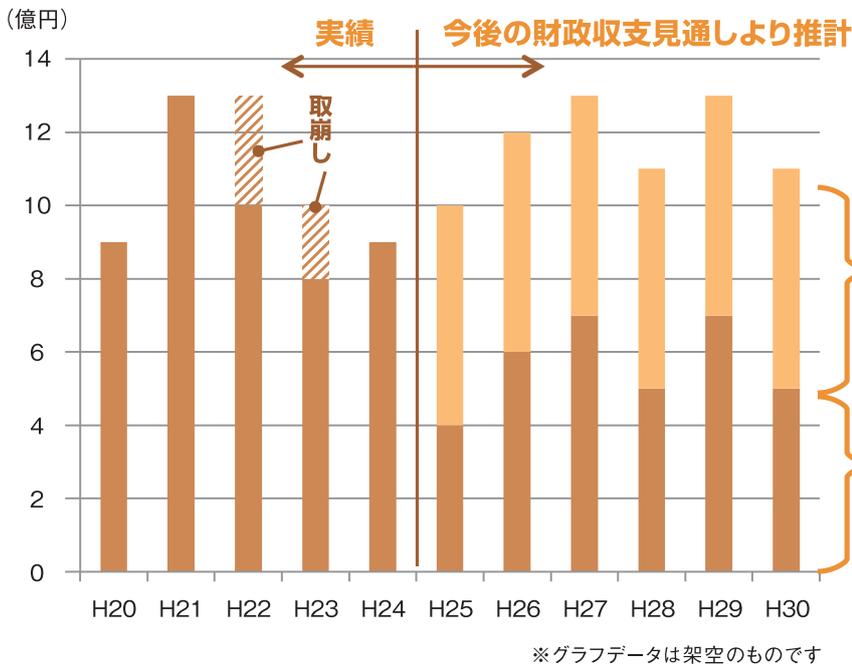
これを除いた額は、ある意味で（現時点では）取崩し時期が想定されていない額ということになります。このような資金をコア資金と称しますと、このコア資金については取崩しの可能性が低いとも考えられることから、ある程度長期での債券運用をした方がその分、利回りもよく、効率的な運用に適うとも考えられます。

財政調整基金は、将来、大幅な税収減に見舞われたり、災害の発生等による思わぬ支出増に備えるため、長期的視野に立った計画的な財政運営を行うため積み立てている資金です。

流動性を確保することが重要なんだ!  
短期で運用しよう!



一時的な運用  
(預金等)



・不測の資金需要に対応するための資金  
・過去の実績を踏まえて推計

手元に流動性がある形で確保しておきたい資金

取り崩し時期が決まっていない資金 (コア資金)

・基金残高と手元に流動性がある形で確保しておきたい資金の差額より推計

基金残高のうちコア資金が占める割合をきちんと推計して把握することがポイントだよ。  
一定期間、債券で運用すれば、預金より高い利回りを得ることができるよ!



中長期での  
債券運用

## がんばる 公営競技

### 自治体や住民に貢献する公営競技

地方公共団体が行っている公営競技（競馬、競輪、オートレース、競艇）は、長い歴史を持つ大衆娯楽の一つです。JFMでは、公営競技の施行団体から収益金の一部を受け入れて地方公共団体健全化基金に積み立て、その運用益を用いて地方公共団体への貸付利率の利下げに充てています。公営競技は、直接・間接的に自治体や住民に貢献しているのです。

近年、趣味の多様化や景気の低迷などにより公営競技を取り巻く環境は厳しさを増していますが、各実施団体は来場者数や売上の回復・向上を図りさまざまな努力を重ねています。その一例として、神奈川県と川崎市で構成する川崎競馬の取り組みを紹介します。

## 第1回

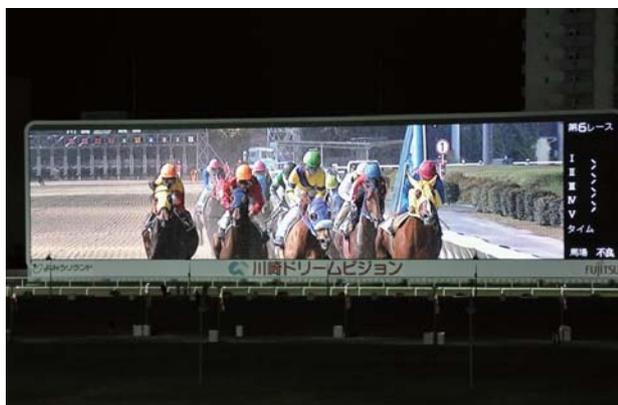
# 川崎競馬場の挑戦

## 集客・収益UPへの取り組み

### ハードとソフトで戦略を実現

川崎競馬場は1995年から照明設備を整備してナイト競馬を開催、仕事帰りのファンの来場を促進してきました。また、場内に設置された「川崎ドリームビジョン」は、完成当時ギネスブックにも認定された世界最大級の大きさを誇ります。こうしたハード面の充実と併せて、各種サービスやイベント、ネット投票の導入・拡販、地元商店街との連携など、企画や運営面でも新規ファンの開拓に注力しています。

中長期的戦略を実現するための地道な努力が結実し、苦戦する公営競技が多い中、川崎競馬では堅調な売上を続けています。



世界最大級のスクリーン（長さ72m、高さ16m）



### 公営競馬最大のイベント[JBC]を開催！

「公営競馬はファンから預かったお金で地方行政に貢献すると同時に、馬産地の活性化、競馬に関わる雇用の創出など、重要な使命を担っています。競馬の娯楽としてのポテンシャルは高く、まだ魅力のすべてを伝え切れていません。馬や騎手と市民の交流の機会を増やすなど、従来になかった企画をどんどん立案し、より顧客満足度の高い競馬場を目指していきます」（神奈川県川崎競馬組合副管理者・川崎泰彦氏／写真右）。

川崎競馬場では、11月5日（月）に、JBC（ジャパンブリーディングファームズカップ）が開催されます。JBCは全国の地方競馬場が持ち回りで行っている公営競馬最大のイベントです。ライブで観る競馬は迫力満点。是非一度、競馬場へ足を運んでみてください。



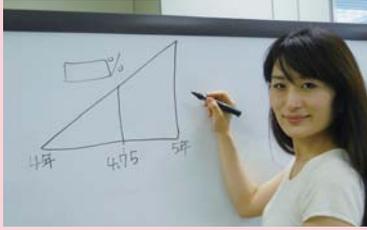
神奈川県川崎競馬組合の皆さんと、川崎競馬場の人気キャラクター「カツマルくん」。

（取材協力・写真提供 神奈川県川崎競馬組合）

**公営競技納付金は、貸付利率の利下げに活用されています！**

## 人事交流日記

## 第3回



きめ細やかに解説いたします



出前講座に行ってきます!

## ■ 地方支援課 橋本明奈 福岡県庁から派遣

福岡県からの交流で機構2年目となります。

『地方支援課』はその名のとおり、民間金融機関などからの資金調達を効率的に行えるよう、自治体の皆様のお手伝いをさせていただくセクションです。自治体ファイナンス・アドバイザーとともに、電話・メールだけでなく実際お伺いしてのご相談や出前講座なども行っています。

私が自治体側にいたら「使わない手はない」と思うほど!ご要望に応じきめ細かく対応しようという姿勢と「なんとかお力になりたい」という気持ちに溢れた職場は非常に活気があります。

お電話をいただく度に「私たちにできることは全てやろう!」と腕まくりする日々。「地方のため」のJFMです。是非ご活用ください。お会いできるのを楽しみにしています。

## ■ 資金課 金村智一 広島県庁から派遣

広島県から2年間の派遣でJFMに参り、早くも1年と3カ月が経過しました。

昨年度は融資部で地方公共団体への貸付業務を担当し、今年度は資金部で債券発行を担当しています。

金融機関の特徴的業務である「貸付」と「資金調達」の両方に携わることができ、これまで全く馴染みの無かった金融の世界に少しだけ慣れることができました。

債券発行にあたっては証券会社とのやり取りも多く、これまで聞いたこともないような「生の金融用語」が会話に飛び交い、また、日々変動する債券市場の動向に一喜一憂させられる毎日は新鮮で、マニュアルや研修では学ぶことができない現場の空気を肌で学ばせていただいております。



専門誌「ファイナンシャルタイムズ」をかかさずチェック!



毎日熱い議論を交わしています。



充実した日々を送っています!



何かあれば上司の高橋次長に相談

## ■ 融資課 佐伯喜博 鹿児島市役所から派遣

派遣法に基づき、鹿児島市からJFMへ参りました、融資課の佐伯です。JFM資金の借入申込に対する融資審査業務のほか、公債費負担対策に関する業務等を担当しています。

また、昨年度は異なる部署の審査室に所属し、健全化判断比率を軸とした財政・経営状況把握に基づく団体・企業へのヒアリング等を実施しました。

融資に関わる審査は金融機関特有の業務要素であり、借入申込が増加する出納整理期間内の対応等、苦勞する面もありますが、団体の事業担当課においてはなかなか強く意識することのない、地方財政制度全般に関わる理解を深める絶好の機会にもなります。

「地方のための」業務を通じて、「地方の」役に立つ職員へと成長できる。JFMはそのような場所だと感じています。



# 計画的な資金運用に JFM債の活用を!

- JFM債の購入資金は、地方公共団体へのご融資を通じて、地域に還元されています。
- 安全で効率的な運用のお手伝いをします。
- 定期的に発行している10年債、20年債のほか、運用ニーズ(金額、期間等)に応じた債券を随時発行しています。

※ご購入にあたっては、お近くの証券会社にお問い合わせください。

私 たち も

JFM 買ってます!

山梨県



財政課の  
深沢さん

山梨県では、長期的かつ安定的に資金を調達することを目的に、平成19年度から全国型市場公募債を発行しております。その満期一括償還時に備え、一定の割合を減債基金に積み立てることとしておりますが、その減債基金の運用において、安全・有利なJFM債を活用しております。

このJFM債の運用を通じて、被災地の復旧・復興をはじめとした、住民生活に密着した事業に寄与できることは、非常に意義深いものであります。

リニア中央新幹線や中部横断自動車道など、将来の山梨の可能性を大いに高める「やまなし発展の芽」を大きな成果へと結実させ、「暮らしやすさ日本一」の山梨づくりを実現するため、JFM債の運用益を活用して参ります。

## JFMからのお知らせ

### 📷 写真募集中

JFMでは、広報誌の表紙や、ホームページのトップページに → <http://www.jfm.go.jp/>掲載する写真を募集しています。

### 📖 JFMに対するご意見をお寄せください

今回から始まった「がんばる公営競技」のコーナーにつきまして、皆様からの記事募集を行っています。また、他のコーナーにつきましても、JFMだよりへの掲載希望や内容に関するご質問をお伺いしています。

ご連絡先 ▶ 経営企画部企画課広報担当 TEL:03-3539-2674 mail:info@jfm.go.jp